



よく似たヤブランと ジャノヒゲの違い



どちらも細長い葉を茂らせる多年草

一見すると非常に似ている姿



しかし、**花と実、そして葉の幅に明確な違いが存在します。**

見分けるため見分けるための3つのポイント



花

ヤブラン：紫の花
ジャノヒゲ：白系の花



実

ヤブラン：黒い実
ジャノヒゲ：青い実



葉

ヤブラン：広い葉（約7-12mm）
ジャノヒゲ：細い葉（約2-3mm）

ヤブラン (藪蘭)

分類：キジカクシ科ヤブラン属

別名：リリオペ、サマームスカリ

花期：7～10月

日本全土の藪などに自生し、薄暗い場所でも丈夫に育つ多年草。





ジャノヒゲ（蛇の髭）

分類: キジカクシ科ジャノヒゲ属

別名: リュウノヒゲ（竜の鬚）、ネコダマ

花期: 7～8月

草丈が低く、多数のひげ根が生え、
大きな株になる常緑多年草。

花の違い（色と咲き方）

色: 紫色

咲き方: 穂状花序
(たくさんの蕾が密
に上を向いて咲く)



色: 白色～淡紫色

咲き方: 総状花序
(まばらにつき、下
を向いて咲く)



実の違い（色とつき方）



色: 光沢のある黒

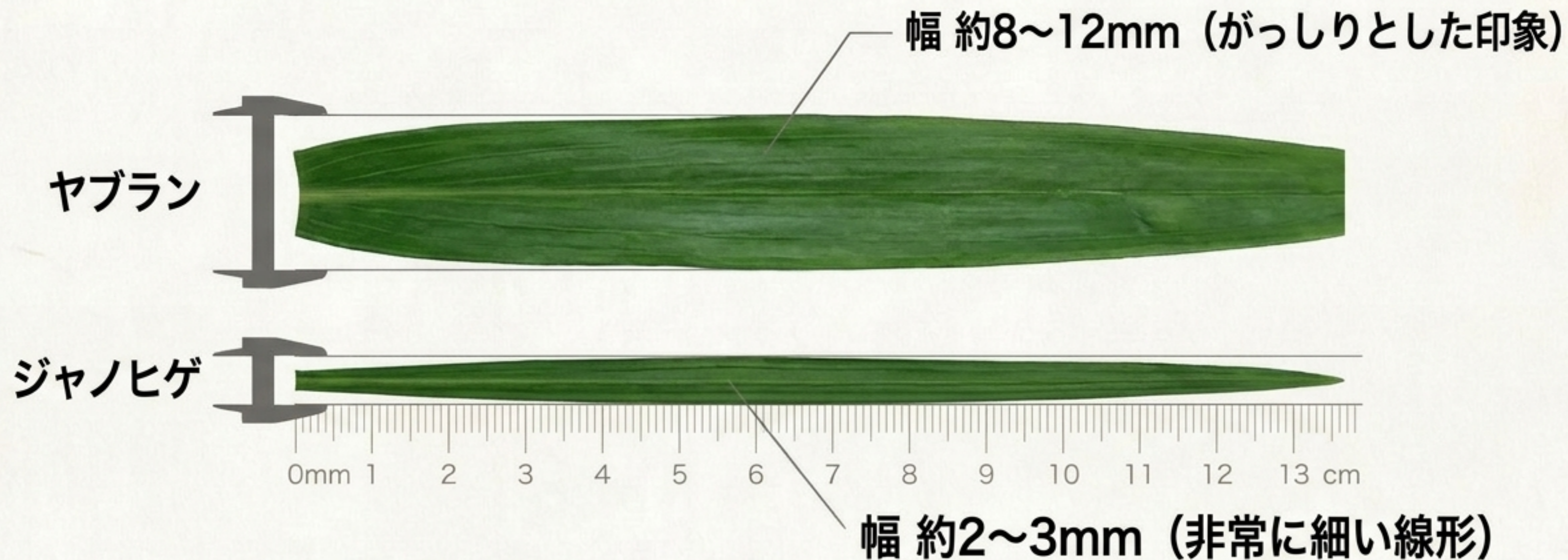
特徴: 実ではなく
「むき出しになった
種子」。緑色から
黒へ変化。

色: 鮮やかな青

特徴: 葉の間に隠
れるようにつき、見
つけにくい。



葉の幅の違い（スケール比較）



花や実がない時期は、この葉の幅が最も確実な見分け方となります。

名前の由来と花言葉

ヤブラン

由来：藪（ヤブ）に生え、葉が蘭（ラン）に似ているため。

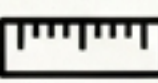
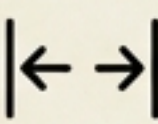
花言葉：「隠された心」「忍耐」

ジャノヒゲ

由来：能面の「尉（じょう）の面」の顎鬚に見立てた「ジョウノヒゲ」が変化。

花言葉：「変わらぬ思い」「深い思いやり」

見分け方 まとめ (Diagnostic Matrix)

特徴	ヤブラン	ジャノヒゲ
 花の色	紫	淡紫～白
 花の大きさ	約7mm	7～8mm
 実の色	黒	青
 実の大きさ	6～7mm	約8mm
 葉の幅	8～12mm	2～3mm